

福岡市東区箱崎の九州大学宙空環境研究センター（湯元清文センター長）は9月19日、東箱崎公民館（花田健司館長）と協力して、同センターで体験講座「宇宙天気アウトリーチ活動」の第1回「宇宙天気って何だろう？」を開催した。東箱崎校区の66人が参加し、宇宙の天気について学んだ。

宇宙天気 知ってる？

Translation: space weather

九大宙空環境研究センター・東箱崎公民館が体験講座

Translation: solar

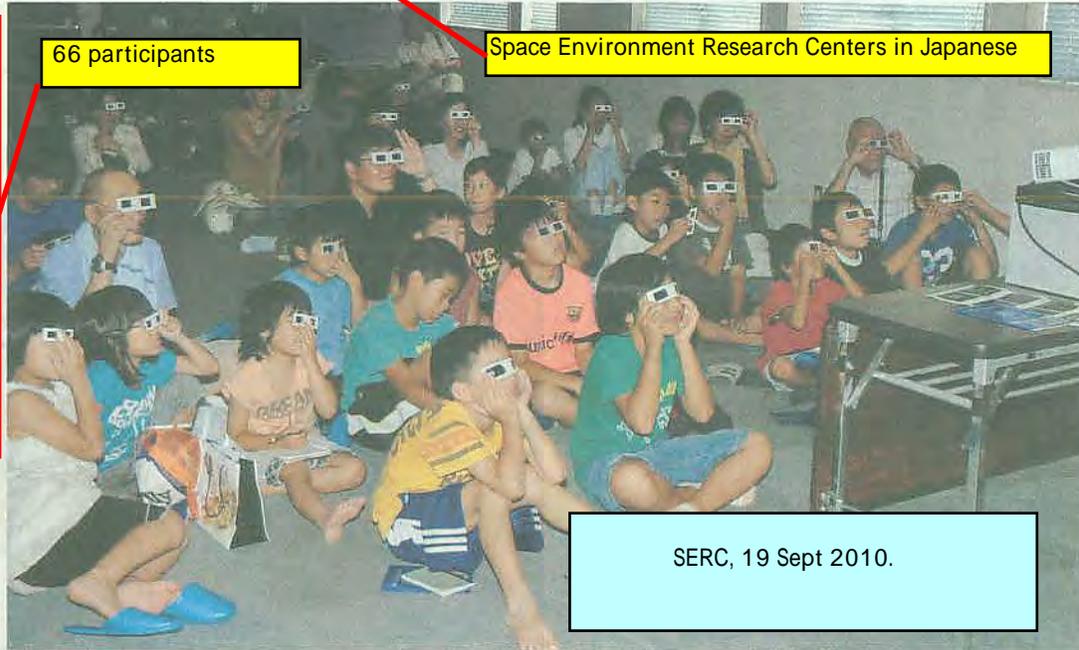
3-dimensional

Video footage

punch, or vigor

太陽
3D
映像
迫力

参加の66人真剣



区の支援で実施している区内の大学と地域コミュニティとの共働事業「東区コミュニケーションズ2010」の一つで、講座は地球とその周辺の宇宙空間「宇宙」の環境について、知ってもらおうのが狙い。初回の講座では、同センター特任助教の阿部修司さん(34)や大学院生らが講師となり、スライドでの解説やクイズを交えて楽しく進行。3Dで撮影された太陽の画像や映像を専用めがねを掛けて鑑賞すると、その立体感と迫力に参加者から驚きの声が上がった。また、静かで真っ暗に見える宇宙空間でも、電気

真っ暗に見える宇宙…電気の雨や放射線、プラズマ風吹く

雨や放射線が降ったり、プラズマ風が吹き荒れたりする変化「宇宙天気」が常に起きており、地球上で暮らす人間にも影響を及ぼすとの説明に、参加者は意外そうな顔をしたがり、うなずいたりしながら真剣に聞き入っていた。

参加した樋口大輝君（東箱崎小4年）は「太陽の3D映像は触れそうなほどの迫力だった。人工衛星が宇宙ごみで壊れることは初めて知った」、当間遥樹君（同）も「クイズで楽しく学べた。ぜひ次回も参加したい」と宇宙への関心を深めていた。湯元センター長は「この講座をきっかけに宇宙について、興味を持ってもらえれば」と期待を寄せていた。

講座は来年1月までの全4回で、次回は10月30日に東箱崎公民館で「太陽を知ろう」を開催する予定。問い合わせは同公民館（092・6322・4127）へ。

専用めがねを掛けて太陽の3D映像を見る参加者①スライドを使い宇宙天気を解説②



Circulated in ISWI Newsletter
Vo.lume 2, Number 79